

ii-nuts!! いーなっつ!りぽーと **10月9日**
いいなっつ農園収穫祭
 いいなっつ農園 サツマイモ畑は大賑わい!

収穫の秋 家族そろってサツマイモ掘りをしました。

5月に170人で植えた1,200本のサツマイモを、230人で収穫しました!

サツマイモ1株で収穫袋いっぱいになるほどの大きなサツマイモや、茎を引っ張ると根っこばかりだったという物もありました。

苗植えと収穫に参加したお母さんは「いつもスーパーで買っているキレイなサツマイモは、土の中でいくつか連なって出来ていることを体験してほしくて、子どもと参加しました」と笑顔で話してくれました。



袋いっぱいを持ち手が破れそう!



掘れた!



道具があると早いね〜



笑顔の長寿会さん



姉弟仲良く傘の中



ハンドメイド大人気!



お昼は五平餅!



第43回

稲津町文化祭

~つながる和 世代をこえて~

雨にも負けず風にも負けず 心のこもったおもてなしを心がけました。

台風接近にともない雨の2日間になりましたが、やっぱり稲津の文化祭。お祭りには約1,300人が集い大盛況でした。



おもてなし



幼小中作品がいっぱい



観客ノリノリで gogo



世代をこえて笑顔のフィナーレ



迫力のチアダンス



羽広出身 沖縄で活躍中の中山さん

餅投げオーナー様 ご協賛ありがとうございました。40臼のお餅とお菓子で華を添えました。

加知 萌・芽依 勝股 敬 小栗正敏 十五年会 伊藤 治 小木曾幸一 後藤 修 前川庵三
 NPO法人稲津スポーツ・文化クラブ 瑞浪市社会福祉協議会稲津支部 有限会社 白山 稲津まちづくり
 交通安全協会稲津分会 勝股清治 小林秋博 加納康文 大島紀美夫・千世子 正村京司 工藤重孝
 稲津町区長会 稲葉俊光 稲津太極拳教室 山の田苺サロン 稲津フォークダンス同好会 中山園芸
 JAとうと稲津支店 林 亮吉 和田謙吉 梶田勝美 中山征治 三輪田幸泰・順子 瑞浪市役所稲津会
 山崎道美・美和 和田さき子 加納芳光 木村彰男 前川忠義 後藤豊文・小嶋伸江
 稲津民生児童委員会 東海珠算稲津教室 成瀬廣晃 東濃信用金庫稲津支店 匿名2 (敬称略)

ii-nuts!!ギャラリー

ロビーにて、多彩な
催し物を開催しています。

~かわいいお化け屋敷だよ~

ジャンボおばけカボチャと、カラフルなお化け屋敷の出来上がり!

子どもなら4~5人、大人でも3人は入れて落書きもOK! おうちに落書きしてもいいなんて!! たくさん子どもたちが大喜びでカボチャやお化けの絵などを描きました。



ハロウィン がぼちゃのクッキング

~ 手作りスイーツでハロウィンパーティー ~

いいなっつ農園で収穫したカボチャでムース、サツマイモでカップケーキを作りました! 素材が甘いので、砂糖控えめで、みんなのおいしい笑顔があふれました。包丁や泡だて器を使い、お料理上手になったかな?

苗植えから収穫、そして調理まで一連の体験ができました。



和田 郁江さん
 特選 題永『楽』の部
 白紙能楽堂へ消えゆけり

NHK学園の平成29年横浜
 市俳句大会にて、全国5831
 人の応募の中から3人の特選
 の中のひとりに選ばれました。

白紙とは、男の人の夏の着物だそう、扇子を仰ぎながら能楽堂の方へずっと消え入るように曲がつて行った人を見て詠まれたとのこと。
 老後の趣味に何かと思つて始められたのが、今では心の拠り所となっているそうです。
 俳句を作る事で、感性と表現力が養われていきます。十数年作り続けて、それがよくわかつたそうです。
 「私にとって一番嬉しい賞となりました」と話される笑顔がとてもステキでした。

十一月の稲津さん

須の宮(79歳)

雨ガッパ姿でクリーン作戦

社会福祉協議会稲津支部主催

10月15日

瑞浪南中学生・麗澤瑞浪高校生に一般のボランティア総勢40名がガッパ姿で小里川沿いのゴミ拾いをしました。

小里城付近から下るグループと、羽広長慶寺橋から上るグループに分かれて作業開始。雨のため土手は危険なので道路のみの作業となりました。道路は比較的キレイでしたが、草むらにはゴミが隠れていました。

稲津町内ではいろんなボランティアさんが清掃活動をされています。ポイ捨て0の稲津にしたいですね。



人口	9月1日現在		10月1日現在		増減
	男	人	2,195	人	
	女	人	2,290	人	
	計	人	4,485	人	
世帯数		世帯	1,694	世帯	12

小里	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	11月17日	12月15日	
萩原	11月16日	12月14日	11月27日 12月21日
	11月27日	12月21日	

「雨降って地固まる」と申しますが、こうした状況の中でみんなの力で盛り上げていくという郷土愛をひしひと感じました。すべての村人の皆さまに感謝し、異例だった文化祭の顛末記とさせていただきます。(K)

「雨降って地固まる」と申しますが、こうした状況の中でみんなの力で盛り上げていくという郷土愛をひしひと感じました。すべての村人の皆さまに感謝し、異例だった文化祭の顛末記とさせていただきます。(K)

今年の一〇月は風変わりな月だった。
 青天の霹靂の解散総選挙。希望という名の台風の目が吹き荒れるかと思われたが、わずか数日で逆風に晒された。投票日には大型台風が日本列島を襲い、大きな被害を齎した。選挙結果は、多少の様変わりがあったものの元の木阿弥。大金を使い何のための選挙だったのか、今も疑問が残る...。

そのため「おらが村祭り」も一週間の延期を余儀なくされた。それでも、台風二十一号の最中に文化祭じゃなくて良かったと胸を撫で下ろしておった。ところが、また季節外れの台風が発生し、前号と同じルートでやってくるというのだ。我々は必死で祈った。少しでもそしてくれんことを。しかし無情の雨は初日の朝から降った。片付けの頃に土砂降りの雨に変わったが、降ったり止んだり、文化祭の全日程を無事に終えることができた。

雨二毛負ケズ
 風二毛負ケズ